

ポータブル・デジタルテレビ BTV-WL900

取扱説明書

BLUEDOT®



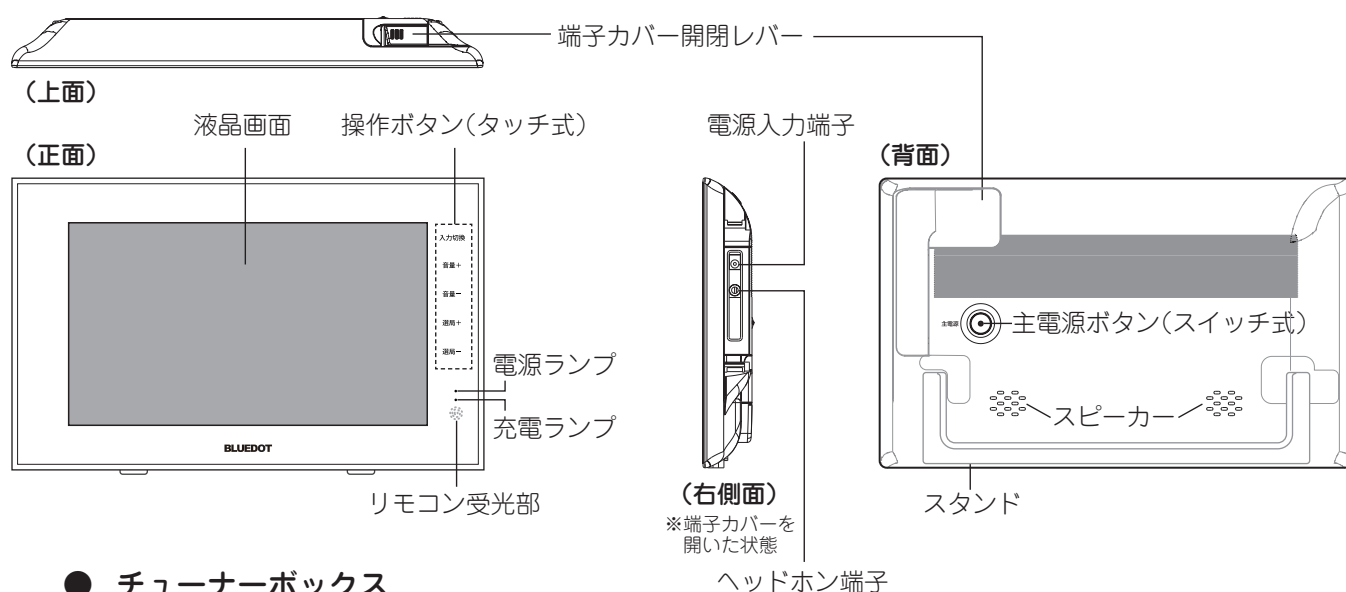
本機は日本国内の地上デジタル放送に対応したテレビ受像機です。他国ではご利用いただけません。

この取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

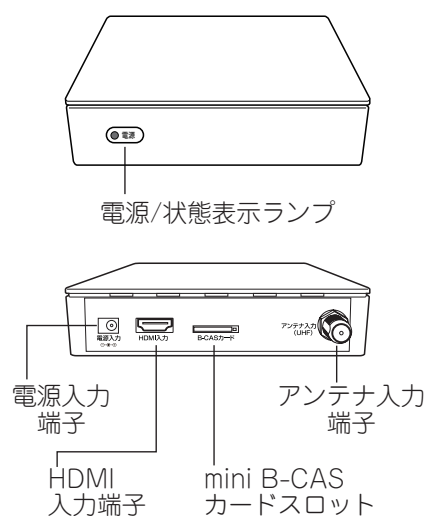
同梱品と各部の名称

内容物をご確認ください。

● モニター（受信部）..... 1台



● チューナーボックス（送信部）..... 1台



付属品

- リモコン...1個
- ACアダプター...2個
- アンテナケーブル...1本

- アンテナ分配器...1個
- かんたんガイド
取扱説明書、保証書...各1部
- mini B-CASカード...1枚

- ◆ 取扱説明書の内容、本機および付属品の外観、機能、仕様などは、改善のため将来予告なく変更することがあります。
- ◆ 取扱説明書の一部またはすべてを弊社に無断で転載/複製することは法律により禁止されています。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

警 告

 煙が出たり、変なにおいや音がしたりするなどの異常が見つかったら、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

 水のかかる恐れのある場所でACアダプターを使用しない。
浴室や洗面台、キッチンなどの水まわりで使用すると感電の原因となります。

 濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。
感電の原因となります。

 内部に水が入ったら
主電源をオフにし、ACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。目に見える水滴が乾燥しても内部に水分が残っている可能性がありますので、再び使用することはおやめください。

 内部に異物を入れない。入ったときは、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

 指定以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。

 内蔵バッテリーは火中投入、加熱したり、高温下で放置、充電、使用しない。
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。

 内蔵バッテリーは指定の方法で充電する。
間違った方法で充電すると、液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。

 電源コード、アンテナケーブルを破損しないようにする。
火災・感電の原因となります。

 電源プラグの付着物は取る。
プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。火災・感電の原因となります。

 電源プラグはきちんと差し込む。傷んだプラグは使わない。
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となります。

 分解、改造を行わない。
内部の部品に直接触れると、火災・感電・けがの原因となります。

絵表示の例	 記号は、禁止される行為を表しています。
	 記号は、行わなければならないことを表しています。

 雷が鳴り始めたら使用をやめる。電源プラグやアンテナケーブルに触れない。
火災・感電の原因となります。

 チューナーボックスは風呂やシャワー室、キッチンなど湿気や油煙の多いところで使用しない。
火災・感電の原因となります。

 異常に温度が高くなる場所や寒暖差の激しい場所に置かない。
火災・感電・故障の原因となります。

 落としたり大きな衝撃を与えたりしない。
電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注 意

 濡れた手で、または水まわりや湿度の高い場所で端子カバーを開閉しない。
本機内部に水分が侵入して故障の原因となります。

 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない。
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 過度のたこ足配線をしない。
火災・感電の原因となることがあります。

 チューナーボックス背面の放熱口に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く。
詰まったまま使用すると、火災・故障の原因となります。

 大きな衝撃をあたえない。
液晶画面が割れたり、故障・破損する原因となります。

 布などで覆ったり、布団やクッションの上で視聴したりしない。
内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。

 移動するときは接続されているすべての配線を取り外す。
けが・故障の原因となることがあります。

 長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ボタン電池について安全上の注意

電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。

電池は飲み込むと窒息や内臓への障害の原因となることがあります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電したりしない。

破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

指定以外の電池を使わない。

破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

使い切った電池はすぐにもコンから取り出す。

そのままリモコンの中に放置すると破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が目の中に入ったときや体や衣服についたときは直ちに水道水などのきれいな水で洗い、すぐ医師にご相談ください。

ご使用に関する注意

お手入れ

お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れが付いた場合は柔らかい布で拭いてください。油汚れの場合は、薄めた中性洗剤にやわらかい布を浸して固く絞り、軽く拭いてください。

結露について

寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に長時間放置したりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。このまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れずに乾燥した場所に放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

視聴時の注意

暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。また、視聴時はスピーカーやヘッドホンの音量を上げすぎないように注意してください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

仕様上の注意

- ◆液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ◆バックライトには寿命があります。非常に暗い、点灯しないなど、著しい異常が認められた場合は修理をおすすめいたします。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- ◆本機をテレビやラジオなどの電気機器に隣接して設置した場合、映像や音声に雑音が入るなど、互いの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。できるだけ両者を遠ざけるなどの対策を講じてください。

補償について

何らかの不具合 / 故障などによって生じた、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

保証修理 / 交換

保証期間内であっても、本書や取扱説明書、保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

もくじ

同梱品と各部の名称.....	1	⑤ テレビを設置する.....	8
安全にお使いいただくために.....	2～3	⑥ 主電源をオンにする.....	8
無線テレビの特徴と注意.....	4	⑦ チャンネルを設定する.....	9
本機の防水性能について.....	5	⑧ テレビを観る.....	10
① 地デジとは.....	6	⑨ 外部入力映像を表示する.....	11
② B-CASカードを挿入する.....	6	⑩ 各種設定を行う.....	12
③ リモコンの準備.....	7	故障かな?と思ったら.....	13～14
④ アンテナと電源を準備する.....	7	製品仕様.....	15

無線テレビの特徴と注意(必ずお読みください)

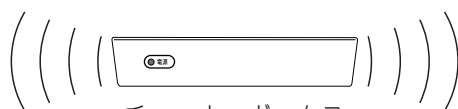
本機はチューナーボックスで受信したテレビ映像を無線で伝達し、モニターに映し出します。

電波の届く範囲の目安と届きにくくなる要因について

<電波の届く範囲>



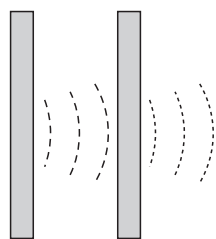
モニター



チューナーボックス

障害物や電波障害がない
直線距離で約15m

<電波が届きにくくなる要因>



鉄筋・鉄骨・コンクリート
壁・扉・床・金属家具など



モニター

注意

- ・ 距離が長くなるほど、障害物が多いほど電波が届きにくくなります。また見通しのきかない奥まった部屋も電波が届きにくくなります。
- ・ よくご使用になる場所が互いに遠く、一方に電波が届きにくい場合は中間点にチューナーボックスを設置してお試しください。
- ・ モニター背面にアンテナが埋め込まれているため、設置する際にはできるだけ背面を塞がないようにしてください。

本製品は映像の伝送に5GHz帯の電波を使用しています。
他の機器から電波干渉を受けた場合、互いの性能や動作に影響を与える可能性があります。

ご使用上の注意と禁止事項

- ・ 航空機内や病院など電波を出す機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。
- ・ ベースメーカーや火災報知器、自動ドアなど電波によって誤動作を起こす恐れのある電子機器の近くでは使用しないでください。
- ・ 本機は日本国内向けです。海外では使用しないでください。
- ・ 本機は屋内専用です。屋外にチューナーボックスを置いて使用しないでください。

本機の防水性能について(必ずお読みください)



本機はJIS C 0920のIPX7相当の防水性能を有しています。

本機はJIS C 0920のIPX7相当の防水性能を有しています。

- ◆ JIS C 0920は「電気機械器具の外郭による保護等級」を定めた規定です。
- ◆ IPX7は「規定の圧力及び時間で外郭を一時的に水中に沈めたとき、有害な影響を生じる量の水の浸入があってはならない」ことを示しており、具体的には本機を常温水中、約1mに約30分間沈めても本機に有害な影響が出ない性能を表しています。
- 常温水での規定であり、温水で同等性能を有することを保証するものではありません。
- 入浴剤やシャンプー、リンス、せっけん、洗浄剤などを含む水、温泉水、海水など、真水や水道水以外の液体には対応していません。

故障を防ぐために大切な注意点

- ◆ 浴室や洗面所、キッチンなどの水まわりや湿度の高い場所ではディスプレイや端子カバーを決して開けない。本機や手が濡れた状態で端子カバーを決して開けない。
 - ・ 充電などACアダプターを使用しない。
 - ・ ヘッドホンを使わない。
- ◆ 浴室など湿度の高い場所に本機を放置せず、外に出す。
- ◆ 故意に水に浸したり、沈めたり、浮かべたり、水をかけたりしない。
- ◆ 入浴剤やシャンプー、リンス、石けん、洗浄剤など含む水、温泉水、海水など非対応の液体をかけない。
- ◆ 許容動作温度を超える高温下、低温下で使用したり、放置したりしない。また温度差の大きい場所に移動して使わない。
- ◆ サウナで使わない。
- ◆ ゴムパッキンの上に髪の毛、ほこりなどの異物が付着していないか注意し、見つけたら丁寧に取り除く。
- ◆ ゴムパッキンがはずれていたり、破損しているなど異常を見つけたら、使用せず弊社サポートセンターに連絡する。
- ◆ 安定した場所に置いて、落下などの強い衝撃や強い圧力がかからないようにする。
- ◆ 本機が濡れた場合、乾いたやわらかい布などで水分を丁寧にふき取る。
- ◆ 内部に水が入ったまたはその恐れがある場合、仮に動作していてもすぐに主電源をオフにし、弊社サポートセンターに連絡する。

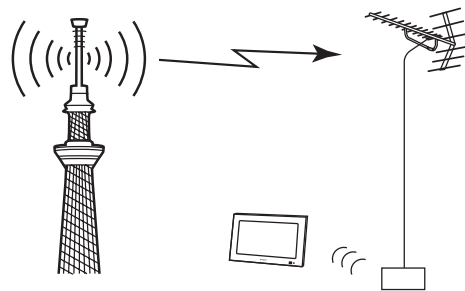


- ・ ゴムパッキンは劣化します。2年程度を目安に交換されることをおすすめします。交換はお客様ご自身ではできません。弊社サポートセンターにご相談ください。
- ・ 本マニュアルに記載された取り扱い方法および注意事項に添わない使い方や誤った使い方によって故障した場合、保証期間内でも保証対象外となります。

1 地デジとは

地上デジタル放送の略称です。2011年7月24日をもって、従来の地上アナログ放送は終了し、地上テレビ放送は地上デジタル放送に切り換わりました。地上デジタル放送は従来のアナログ放送に比べて、ゴーストのないクリアな映像を実現するだけでなく、電子番組表の表示や字幕の表示といった新しいサービスも提供しています。

- * 本機は「BS デジタル放送」や「110度CS デジタル放送」など衛星放送の受信には対応していません。
- * 本機は地上デジタル放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。



! 注意

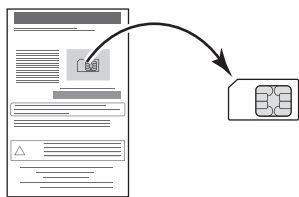
- ・ 地上デジタル放送を受信するためには、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHFアンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」で地上デジタル放送を再送信していることが必要です。
- ・ 電波が弱い場所では増幅器(ブースター)を利用すると改善する場合があります。電波塔の近くなど、電波が強すぎる場合は減衰器(アッテネーター)をご利用ください。
- ・ 次の場所や地域では受信できない可能性があります。
 - (1) 電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、室内アンテナでの受信など電波が弱いまたは不安定または届かない場合。
 - (2) 妨害波や電磁雑音が多い場合。
 - (3) 地上デジタル放送が届かない地域(難視聴地域)。
- ・ 地上デジタル放送の知識や視聴できる地域に関する情報は「社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)」までお問い合わせください。

Dpa ホームページ: <http://www.dpa.or.jp/>

総務省 地デジコールセンター: 0570-07-0101 (ナビダイヤルをご利用になれない場合は:03-4334-1111)

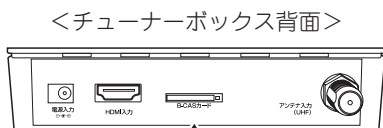
2 B-CASカードを挿入する(チューナーボックス)

- 1 B-CASカードの台紙の内容を一読し、同意された上でB-CASカードを外す



B-CAS カード台紙

- 2 チューナーボックス背面の挿入口にB-CASカードを正しい向きで確実に挿入する



<チューナーボックス背面>

図の向きでカチッと音がするまで差し込む

! 注意

- ・ B-CAS カードの金属端子には触れないでください。
- ・ B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたり、濡らしたりしないでください。
- ・ B-CAS カードを分解したり、加工したりしないでください。
- ・ B-CAS カード以外のものを本機に挿入しないでください。
- ・ B-CAS カードをスムーズに挿入できないときは無理矢理押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
- ・ 本機を使用中に B-CAS カードを抜き差ししないでください。
- ・ B-CAS カードを抜く場合は、ACアダプターを外し、一度カードを押し込んでからゆっくり引き抜いてください。

破損・紛失などにより B-CAS カードの再発行が必要な場合は…

詳しくは、B-CAS カードの台紙に記載のある「B-CAS カスタマーセンター」にご連絡ください。なお、再発行に当たっては別途料金が必要になります。

B-CAS カスタマーセンター: 0570-000-250

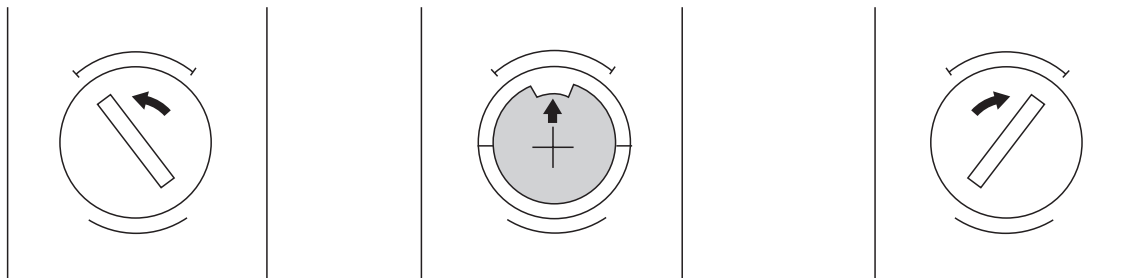
(ナビダイヤルをご利用になれない場合は:045-680-2868)

※その他、B-CAS カードに関するお問い合わせは B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

③ リモコンの準備

工場出荷時には電池がセットされていません。次の手順で付属の電池をセットしてください。

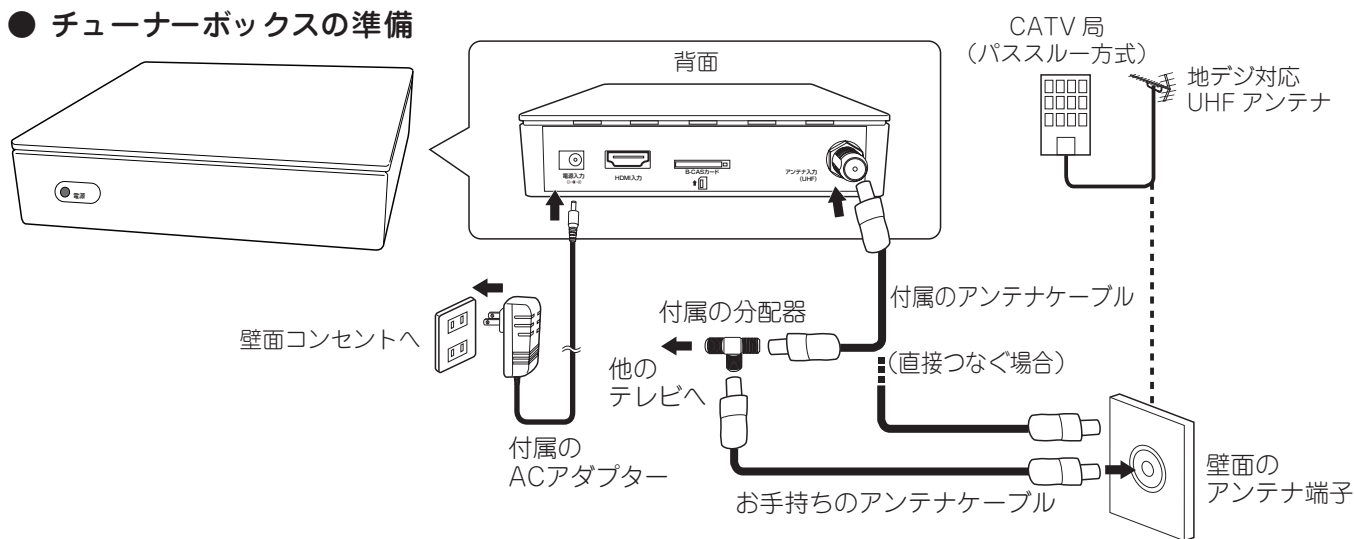
1. コインを使って裏の電池 2. ボタン電池の「+」面を上にして突起の下にもぐり込ませるように挿入する。
3. コインを使って少し押し込みながら電池蓋を回して取り付ける。



電池はCR2025をご使用ください。

④ アンテナと電源を準備する

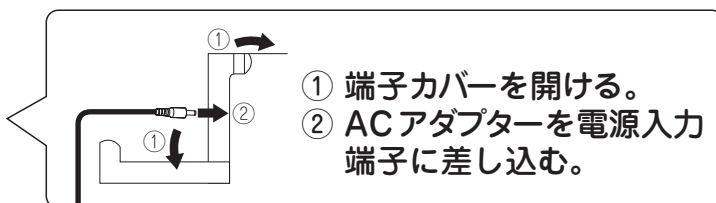
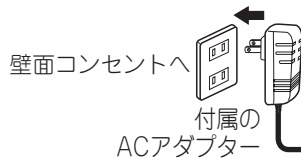
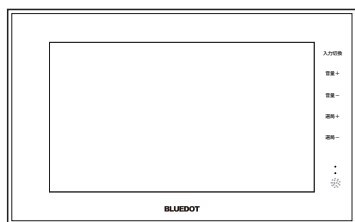
● チューナーボックスの準備



注意

- ・ 1つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、付属の分配器をご利用ください。
- ・ 市販のアンテナケーブルを購入される場合は、太く短いものをおすすめします。ケーブルが長くなるほど信号が弱まります。

● モニターの準備(充電)

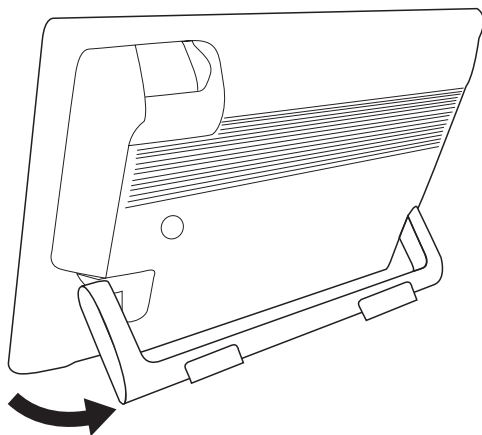


注意

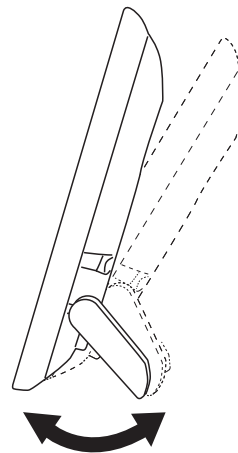
- ・ 充電時間は約6時間です。
- ・ 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。
- ・ 充電完了後は端子カバーをしっかりと閉めください。

5 テレビを設置する

1 スタンドを広げる



2 お好みの角度に調整する



! 注意

- ・不安定な場所に置かないでください。落下・転倒などによりけがや破損の原因となります。
- ・本体に上から強い力を加えると、スタンドが破損したり設置面に傷が付く恐れがあります。
- ・材質によっては設置面に傷が付く恐れがあります。

6 主電源をオンにする

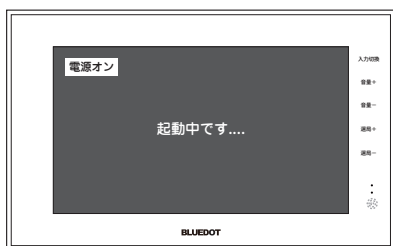


! 注意

- ・オフにするときも同様に主電源スイッチをしっかり押し込みます。

〈テレビ画面が表示されるまでの流れ〉

1 電源オン→起動中です...



2 接続確認中



3 テレビ画面



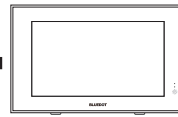
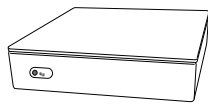
! 注意

- ・ご購入直後は2の後にチャンネル設定(9ページ)が始まります。
- ・①～③まで約1分かかります。
- ・うまく接続されない場合は、モニターおよびチューナーボックスの電源を入れ直して再度お試しください。

接続が途中で切れたときは

チューナーボックスとモニターとの距離が遠すぎたり、障害物や妨害電波などの影響で接続が切断された場合、次の手順で回復します。

- 1 「接続確認中」の画面が表示される。
- 2 チューナーボックスとモニターを近づける。
- 3 モニターに向けてリモコンの「接続」ボタンを押す。

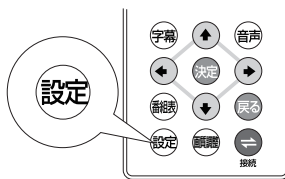


！ 注意 ・上記の方法で何度か試しても回復しない場合は、モニターおよびチューナーボックスの電源を入れ直してください。

しばらく待ちます。

7 チャンネルを設定する

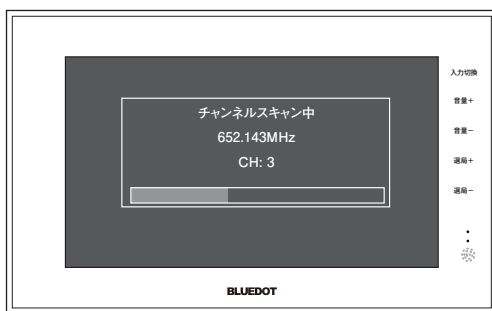
- 1 「設定」ボタンを押す



1/5	メニュー
	フルスキャン
	言語
	パスワード変更
	デバイス情報
	工場初期化

- 2 「決定」を押して「フルスキャン」を選ぶ

チャンネルスキャンが始まります。



右上に続く

- 3 チャンネルスキャン終了までしばらく待ちます。

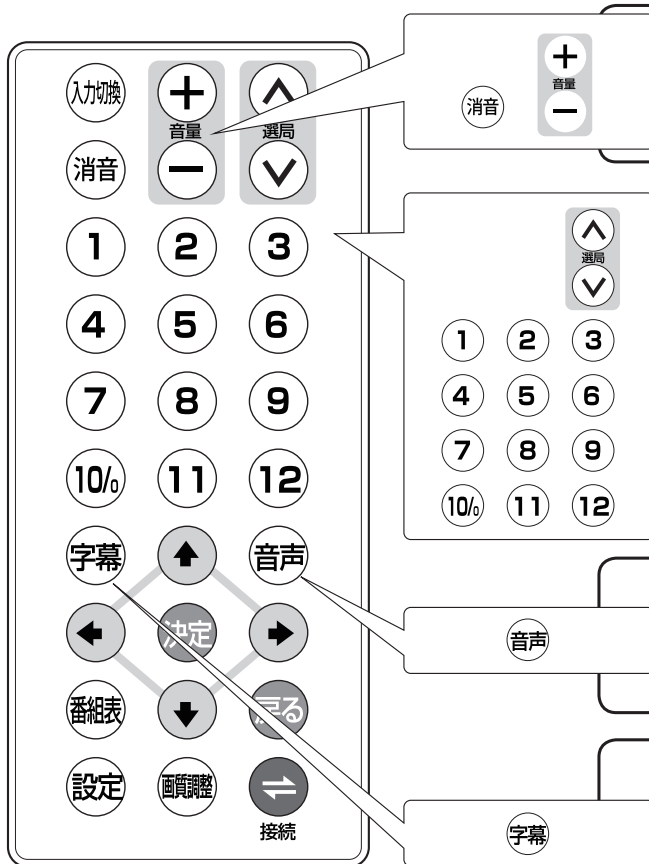
- 4 受信できるチャンネルの映像が表示されます。



チャンネル設定は終了です。

！ 注意 チャンネルが表示されない場合は、アンテナが正しく接続されているか、またアンテナケーブルに地上デジタル放送の信号が来ているか、信号レベルは十分かご確認ください。

8 テレビを観る



音量を調整する

音量ボタンを使って音量を調整します。
消音ボタンを押すと音声が消すことができます。

チャンネルを切り換える

チャンネル番号を押すか、選局ボタンを押してしばらく待ちます。

※切り換わりが始まるまでに少し時間がかかります。
※チャンネルが割り当てられていない番号を押しても「信号がありません」と表示され、チャンネルは切り換わりません。

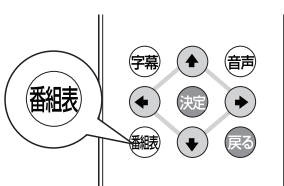
第2音声に切り換える

ボタンを押すごとに主音声(🔊)→副音声(🔊)→主+副(🔊🔊)と切り換わります。

字幕表示を切り換える

字幕のある番組ではボタンを押すごとに表示 / 非表示を切り換えることができます。
(表示時は「字幕」のマークが赤くなります)

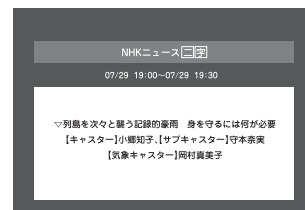
番組表を表示する



「番組表」ボタンを1回押すと番組表を表示します。
「戻る」ボタンを押すと表示が消えます。

番組表		NHK総合1-東京	1/435
07/29 18:00	ニュース	📺	
07/29 18:10	首都圏ネットワーク	📺	
07/29 18:52	気象情報		
07/29 19:00	NHKニュース	📺	
07/29 19:30	クローズアップ現代「格差」は日本の足を		
07/29 19:56	明日へ1min「カレンの書画カレンダー」		

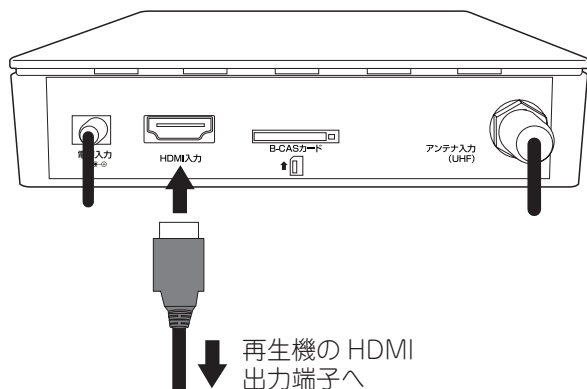
番組情報を表示する



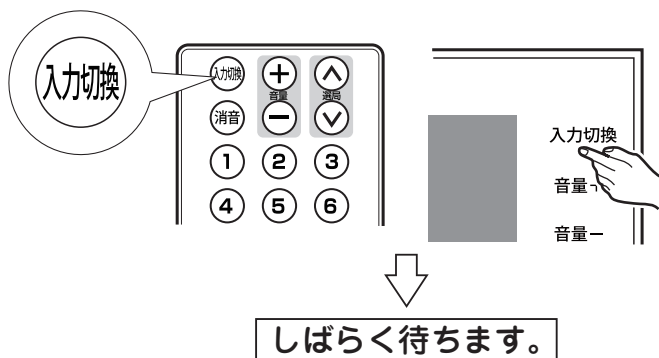
「番組表」表示中に上下ボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。「戻る」ボタンで番組表に戻ります。

9 外部入力映像を表示する

- 1 チューナーボックスの HDMI 入力端子と再生機の HDMI 出力端子を HDMI ケーブルで接続する。



- 2 リモコンまたは本体の「入力切替」ボタンを確実に押す。



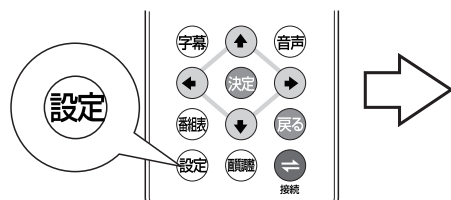
! 注意

- ・ HDMI モードに切り換えると電源ランプが青色に点灯します。テレビモードに切り換えると黄緑色に点灯します。
- ・ HDMI ケーブルを接続するときは、チューナーボックスの電源を一旦オフにしてください。
- ・ 入力切替直後は「入力信号なし」と表示されますが、入力信号を検出すると、その後切り替わります。
- ・ 入力信号がない場合は直前の画面で静止した状態になります。もう一度「入力切替」ボタンを押してテレビモードにしてください。
- ・ うまく切り替わらない場合は、チューナーボックスおよびモニターの電源を切って再度お試しください。

10 各種設定を行う

テレビを設定する

設定ボタンを押す。



1/5	メニュー
	フルスキャン
	言語
	パスワード変更
	デバイス情報
	工場初期化

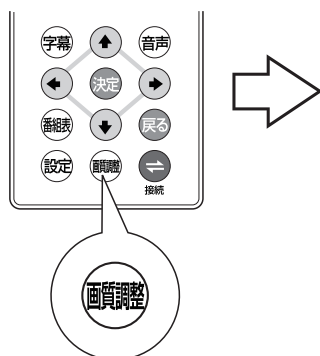
↑↓ボタンで項目を選択し、決定ボタンで選択します。

設定できる項目

メニュー	説明
フルスキャン	チャンネルスキャンを行います。設置されている地域が変わった場合やチャンネル設定を再度行う必要がある場合は再スキャンしてください。決定ボタンを押すとスキャンが始まります。
言語	OSDの表示言語を日本語と英語から選択できます。
パスワード変更	工場初期化を行う際のパスワード(6桁の数字)を変更します。最初に現在のパスワードを入力し、続けて新しいパスワードを入力します。工場出荷時のパスワードは「111111」です。
デバイス情報	B-CASカードのシリアル番号やハードウェア、ソフトウェアの情報を表示します。
工場初期化	設定を工場出荷状態に戻します。パスワードを入力すると「すべての設定を初期化しますか」と表示されますので、←→ボタンで「はい」または「いいえ」を選びます。

画質調整をする

画質調整ボタンを押す。



メニュー	
画質設定	
画質モード	標準 ユーザー
明るさ	50
コントラスト	50
彩度	50
移動 調整 終了	

- ① 右ボタンを1回押して設定項目の選択に移動します。
 - ② ↑↓ボタンで設定項目を選びます。
 - ③ ←→ボタンで各項目を調整します。
- ※ 画質調整ボタンを押すと元の画面に戻ります

設定できる項目

メニュー	説明
画質モード	あらかじめ設定された画質を選択します。「標準」「鮮やか」「ソフト」「ユーザー」から選択できます。
明るさ	画面の明るさを0～100の範囲で設定できます。画質モードが「ユーザー」のときに設定できます。
コントラスト	画面のコントラストを0～100の範囲で設定できます。画質モードが「ユーザー」のときに設定できます。
彩度	画面の彩度を0～100の範囲で設定できます。画質モードが「ユーザー」のときに設定できます。 ※彩度は微調整用です。大幅な変更はできません。

故障かな？と思ったら

テレビが映らない

- チューナーボックスにACアダプターが接続されているか、モニターが充電されているか、モニターの主電源がオンになっているかご確認ください。
- HDMI入力モード(外部入力モード)になっていないかご確認ください。
- モニターが起動してテレビ映像が映るまでに1分ほどかかります。しばらくお待ちください。
- チューナーボックスとモニターが正しく通信していない場合があります。

次の手順で通信が回復するかご確認ください。

- ① チューナーボックスとモニターの距離を近づけて、しばらくお待ちください。
 - ② リモコンの「接続」ボタンをモニターに向けて押し、数分間お待ちください。チューナーボックスに再接続します。
 - ③ 上記2つの方法でも回復しない場合は、チューナーボックスおよびモニターの電源を一旦オフにし、電源を入れ直してください。
- チューナーボックスにアンテナケーブルが接続されているか、アンテナケーブルが壁面アンテナ端子に正しく接続されているかご確認ください。
 - アンテナケーブルが破損していないかご確認ください。
 - チャンネルが正しく設定されていない可能性があります。再度チャンネル設定を行ってください。
 - 受信レベルが低すぎるか高すぎる可能性があります。
 - ▼ 分配器をご利用の場合は、外して直接接続してみてください。
 - ▼ 増幅器(ブースター)または減衰器(アッテネーター)を利用すれば受信レベルを改善できる場合があります。
 - ※ 特に放送局から遠く離れている場合や、室内アンテナをご利用の場合など、受信レベルが低いと正常に受信できない場合があります。
 - 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置されているか、アンテナの向きが正しいかご確認ください。
 - ケーブルテレビにて地上デジタル放送を再送信されている場合、ケーブルテレビ局に「CATV パススルー方式」で送信しているかどうかご確認ください。
 - ご使用の地域に地上デジタル放送の電波が届かない場合は受信できません。
 - B-CAS カードが正しく挿入されているかご確認ください。
 - お引っ越しをされた場合は、チャンネル設定を行ってください。

電源が入らない

- ACアダプターがコンセントおよびチューナーボックスに正しく接続されているかご確認ください。
- モニターが充電されているかご確認ください。
- モニターの主電源スイッチがしっかり押し込まれていない場合があります。

映像や音声が乱れたり途切れたりする。 映像がズレたり色がおかしくなったりする。

- チューナーボックスとモニターの距離が遠すぎる、障害物や妨害波などで電波が届きにくい、または届いていない可能性があります。チューナーボックスとモニターの距離を近づけたり、障害物の影響を受けにくい位置にチューナーボックスまたはモニターを移動したり、妨害波の発信源と見られる機器などの電源をオフにしてください。
- テレビ電波の受信レベルが低いときや不安定なときは、映像がモザイク状に乱れたり途切れたりすることがあります。
- 外部機器との接続が正しく行われているかご確認ください。
- 元の映像データ自体に問題がないかご確認ください。

映像が静止状態のまま止まる

- HDMI入力端子に外部機器を接続する際は、チューナーボックスの電源をオフにしてください。
- HDMI入力信号がない場合、切換前の映像が静止状態で表示されたままになります。HDMI端子に信号が入力された状態でモニターまたはリモコンの「入力切換」ボタンを押してください。
- 入力切換の指令がチューナーボックスに正しく届いていない可能性があります。モニターまたはリモコンの「入力切換」ボタンをもう一度押し、しばらく待ってください。テレビモードに戻った場合、もう一度モニターまたはリモコンの「入力切換」ボタンを押してください。

音声がでない

- 音量がゼロまたは小音量になっていないかご確認ください。
- 消音状態になっていないかご確認ください。
- ヘッドホンが接続されていないかご確認ください。
- チューナーボックスとモニターの距離が遠すぎる、障害物や妨害波などで電波が届きにくい、または届いていない可能性があります。チューナーボックスとモニターの距離を近づけたり、障害物の影響を受けにくい位置にチューナーボックスまたはモニターを移動したり、妨害波の発信源と見られる機器などの電源をオフにしてください。
- テレビ電波の受信レベルが低いときや不安定なときは、音声が途切れることがあります。

リモコンが効かない

- リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。
- リモコンの電池の向き(極性)が正しいかご確認ください。
- リモコンの信号が正しく受信されていない可能性があります。
- リモコンはモニター正面方向から操作してください。チューナーボックスに向けても反応しません。
- チューナーボックスとモニターの距離が遠すぎる、障害物や妨害波などで電波が届きにくい、または届いていない可能性があります。チューナーボックスとモニターの距離を近づけたり、障害物の影響を受けにくい位置にチューナーボックスまたはモニターを移動したり、妨害波の発信源と見られる機器などの電源をオフにしてください。

故障かな？と思ったら（続き）

操作が効かない

- タイミングによってはチューナーボックスとモニターで交信中場合があります。その間は一時的に操作が効きにくくなります。反応がない場合はしばらく待ってから再度お試しください。ボタンを連打すると誤操作の原因になります。
- チューナーボックスとモニターの距離が遠すぎる、障害物や妨害波などで電波が届きにくい、または届いていない可能性があります。チューナーボックスとモニターの距離を近づけたり、障害物の影響を受けにくい位置にチューナーボックスまたはモニターを移動したり、妨害波の発信源と見られる機器などの電源をオフにしてください。

電源が切れる

- モニターが充電されているかご確認ください。
- モニターの主電源がオフまたはモニターとの距離が遠すぎるなどモニターと交信できない状態が数分間続くと、チューナーボックスは自動的にスタンバイ状態に入ります。モニターの主電源を入れたり、モニターとチューナーボックスが交信可能な距離まで近づけたりすると、しばらく後にチューナーボックスが感知し、電源オンの状態に戻ります。

製品仕様

型名	BTV-WL900
画面サイズ(幅×高×対角)	9 インチ (19.8 × 11.2 × 22.7cm) LED バックライト採用
画面画素数 (水平×垂直)	800 × 480 画素 ワイド VGA
防水性能	IPX7
放送方式	ISDB-T 地上デジタル放送 (UHF 13ch ~ 62ch)
映像伝送無線帯域	5GHz 帯
外形寸法 (幅×高×奥行)	モニター : 260 × 162 × 28mm ※本体設置面積は最大 260 × 79mm チューナーボックス : 130 × 140 × 31mm
本体質量	モニター : 約 765g チューナーボックス : 約 200g
電源	モニター / チューナーボックス 入力 : AC 100V 50/60Hz 出力 : DC12V 1.2A ※専用 AC アダプターを付属
バッテリー動作時間	約 3 時間
バッテリー充電時間	約 6 時間
消費電力	モニター : 標準 13W チューナーボックス : 標準 7W/ スタンバイ時 0.8W
スピーカー出力	2W × 2
端子	モニター : ・電源入力× 1 ・ヘッドホン出力× 1 チューナーボックス : ・電源入力× 1 ・アンテナ入力 (F 型、インピーダンス 75 Ω) × 1 ・HDMI 入力× 1 ・mini B-CAS カードスロット× 1

※ BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には対応していません。

※ データ放送や双方向サービスには対応していません。

※ CATV パススルーに対応しています。

- p.13～p.14の「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
- 弊社ホームページの『FAQ(よくあるご質問と答え)』をご確認ください。
<http://www.bluedot.co.jp/support/>
- お客様サポートセンターにご連絡ください。

BLUEDOTお客様サポートセンター

TEL:0570-010080(ナビダイヤル)

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで

※ご利用時間は10:00～17:00(土、日、祝日、会社指定休日を除く)

FAX:043-295-8852

E-mail: support@bluedot.co.jp

BLUEDOT[®] 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail : info@bluedot.co.jp

ホームページ : <http://www.bluedot.co.jp/>